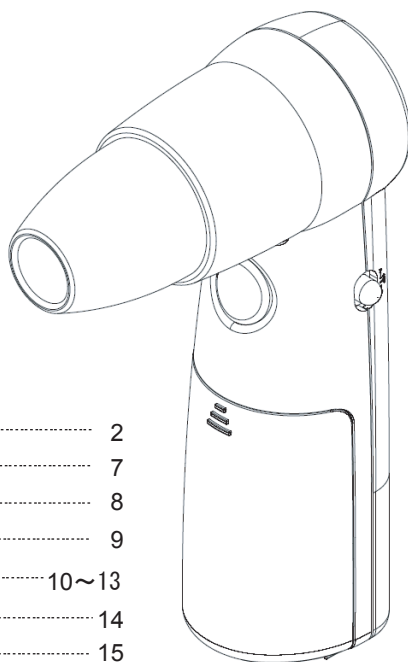


取扱説明書

Model **A1**



もくじ

安全上のご注意	2
商品の特徴と構成	7
各部の名称と機能	8
使用前の準備	9
使用方法	10～13
レンズユニットの交換	14
メンテナンス	15
トラブルシューティング	16
仕様	17

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(2～6ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

注意文を 必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- あなたが本製品を誤用したため、あるいは不適切な操作をしたことによる人身事故や他の損害など、偶発的な損害が発生した場合、製造業者、販売業者は、このような損害に対して責任をおいかねます。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



危険

取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。



警告

取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取り扱いを誤ると、人が重傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示します。



危険

次のような場合や、次の方は使用しないでください。

乾電池や充電電池を炎天下（特に真夏の車内）など高温になるところに放置しないでください。
・液漏れ、発熱、発火、破裂につながります。

乾電池や充電電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などしないでください。

- ・液漏れ、発熱、発火、破裂につながります。
- ・不要（寿命）になった乾電池、充電電池については住んでいる市町村の指示に従って廃棄してください。

乾電池や充電電池の端子（＋と－）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。

- ・液漏れ、発熱、発火、破裂につながります。
- ・ビニール袋などに入れ金属物と接触させないようにしてください。

乾電池や充電電池が液漏れしたとき

- ・液が漏れたときは素手で液を触らないでください。



警告

次のような場合には使用しないでください。

電池は根元までしっかりと挿し込んでください。

- ・ 接触不良で火災や感電につながります。
- ・ 痛んだ電池は使わないでください。

煙が出ている、異常に熱い、におい、異常な音がするときなどは使うのをやめてスイッチを切り、電池を抜いてください。

- ・ 火災、感電につながります。
- ・ 販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損した時は、使うのをやめてスイッチを切り電池を抜いてください。

- ・ 火災、感電につながります。
- ・ 販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したら本機の金属部や乾電池、充電池などに触れないでください。

- ・ 落雷すると感電につながります。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れないでください。

- ・ 火災、感電、故障につながります。
- ・ 乳幼児などの手の届かないところで保管してください。
- ・ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- ・ 落下するとけがや製品の故障につながります。

海外でご使用はしないでください。

- ・ 海外での使用した際に保証しかねます。販売店にご相談ください。

高精度な制御機器や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しないでください。

- ・ 電子機器（身に付けている医療用電子機器等）の誤動作の原因になるおそれがあります。

濡れた手で乾電池や充電池を抜き差ししないでください。

- ・ 感電につながります。
- ・ 必ず乾いた手で取り扱ってください。

水をかけたり、ぬらしたりしないでください。

- ・ 内部に水が入ると火災や感電、故障につながります。
- ・ 水が入った時は販売店にご相談ください。
- ・ 雨天、降雪中、海岸、水辺など水がかかりやすい所で使うときは、ぬらさないようにご注意ください。



注意

次の事柄をお守りください。

分解や改造をしないでください。

- ・火災、感電、故障につながります。
- ・修理や内部の点検は販売店にご相談ください。
- ・お手入れ時で部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は説明書の指示に従ってください。

高温になるところに放置しないでください。

- ・特に真夏の車内、車のトランクの中は想像以上に高温（約 60℃以上）になります。本機や乾電池、充電池などを絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し内部部品が破損すると火災や感電のおそれがあります。

お手入れの際や長時間使わないときは電池を抜いてください。

- ・誤って内部に触れると感電するおそれがあります。また通電状態で放置、保管すると絶縁劣化、漏電などにより火災につながるおそれがあります。

飛行機内で使うときは航空会社の指示に従ってください。

- ・本機が出す電磁波などにより飛行機の計器に影響を及ぼすおそれがあります。
- ・病院などで使うときも病院の指示に従ってください。

本機の上に重い物を置いたり、乗ったりしないでください。

- ・重量で外装ケースが変形し内部部品が破損すると、火災、故障のおそれがあります。

指定以外の電池を使わないでください。

- ・指定以外の電池や充電池を使うと液漏れや発熱、破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

使用中は本機の上に布などをかぶせないでください。

- ・熱で外装ケースが変形し内部が発熱すると、火災、故障のおそれがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしないでください。

- ・集光により内部部品が破損し火災のおそれがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところや、振動が激しいところでは使わないでください。

- ・水やほこりが入り、振動などで内部部品が損傷すると火災のおそれがあります。

以下の状態になった場合には、お近くの販売店にご相談ください。

- ・液体を本機にこぼしたり、電池ボックスや本体内部に異物が入ってしまった場合。
- ・本機が雨や水で濡れてしまった場合。
- ・本機を落とし、なんらかの破損があった場合。
- ・本機が性能上明確な変化を示した場合。（この場合は完全な故障です。必ず修理に出してください。）

**注意**

次の事柄をお守りください。

部品交換について

- ・販売店にて部品交換を行った場合、当社が指定した部品が正しく使用されているか、交換前の部品と同じ特性のものが使用されているかどうかを必ず確認してください。無許可の代替品を取り付けますと、火災や感電などの原因となり大変危険です。
(乾電池については付属している乾電池以外での不具合は保証しかねます。)

安全点検について

- ・販売店による本機の修理や点検後は、本機が正常に動作するかどうかの安全確認を行うように販売店に依頼してください。

使用上のお願い

磁気や電磁波が発生するところからはできるだけ離れてお使いください。

- ・テレビの上や近くで操作すると電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- ・スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により記録が損なわれたり画面が歪んだりします。
- ・本機が影響を受け正常に動作しないときは乾電池、充電電池を一度はずしてから改めて取り付け、電源を入れなおしてください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは本機にかけないように注意してください。

- ・外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

持ち運びするときは落としたりぶつけたりしないようにご注意ください。

- ・強い衝撃が加わると外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。お手入れの際はベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わないでください。
- ・お手入れの際は乾電池、充電電池を外してください。
- ・溶剤を使うと外装ケースが変質し、塗装がはげる事があります。
- ・外装ケースは柔らかい乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは中性洗剤を水でうすめ布をひたし、よく絞って汚れをふき、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- ・外装ケースに化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機の取り扱いについては次の事柄をお守りください。

- ・長時間使用すると本機の温度が高くなりますが、性能、品質には問題ありません。
- ・半年に一度くらいは本機の電源を入れ、動作させてください。

長時間使用しないときは、必ず乾電池、充電電池を外してください。

- ・入れたままにしておくと本機の電源が切れていても、絶えず小電流が流れています。これをそのままにしておくと乾電池は無くなり、充電電池は過放電になり充電しても使用できなくなるおそれがあります。また乾電池が液漏れし、本機を破損させるおそれもあります。
- ・長時間放置すると自己放電していることがありますので、お使いになる前に乾電池を交換するか、再度充電電池を充電してから使用してください。
- ・乾電池は古いものと新しいものを混ぜて使用しないでください。

つゆつき※については次の事柄にご注意ください。

※ つゆつきとは

夏に冷蔵庫から出したビンなどにしばらくすると水滴がつきます。この現象が本機に起こった場合が「つゆつき」です。つゆつきが起こるとレンズがくもったり、正常に動作しないことがあります。つゆつきを起こさない心がけと起こったときの処置を正しく守ってください。

■ つゆつきが起こった場合は次のように処置してください。

- ・電源を切り1時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。つゆつきが取れない場合には販売店にご相談ください。

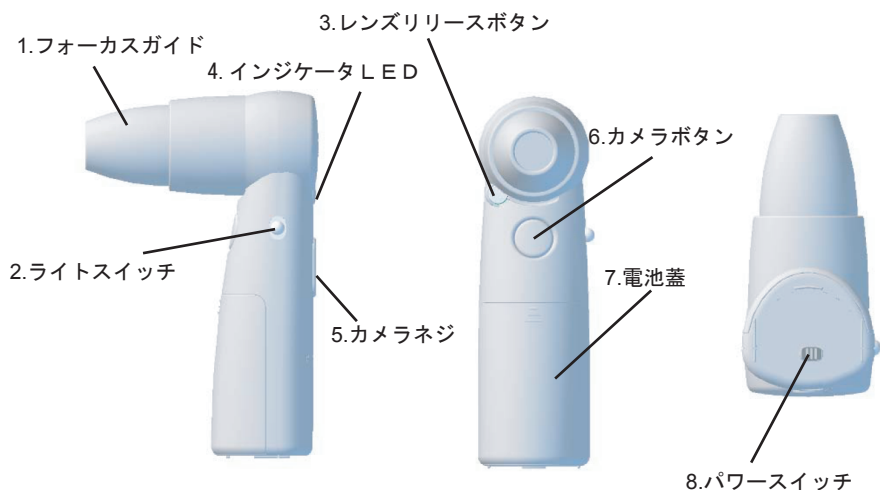
レンズの取り扱いについて

- ・レンズを触らないでください。レンズが汚れた時はメガネ拭き用の布で軽く拭くように汚れを取ってください。綿棒などで先のとがったもので拭き取るとレンズに傷が付き、割れるなど本機の故障につながります。
- ・レンズがくもったときは電源を切り、1時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

特徴

- 標準無線LAN方式採用
無線LAN方式 (IEEE 802.11b) を採用していますので、ビデオケーブルなどが邪魔になりません。
- 単三乾電池を使用
単三乾電池を使用していますので、外出先でも入手が容易です。
- iPad, iPhone and iPod touchやPCに対応しています。
アプリケーション開発キットを使って独自アプリケーションを作成できます。

各部の名称と機能



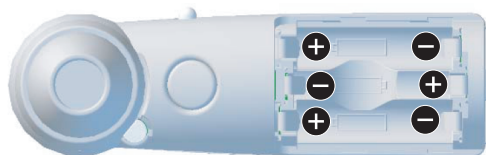
	名称	機能
1	フォーカスガイド	フォーカス位置ガイド
2	ライトスイッチ	照明用ライトスイッチ
3	レンズリリースボタン	レンズロック解除ボタン
4	インジケータLED	1 度点滅して点灯 解像度 Q V G A 2 度点滅して点灯 解像度 V G A
5	カメラネジ	三脚などを取り付けるときに使用します
6	カメラボタン	静止画取り込み用ボタン 使用するモードによる
7	電池蓋	電池蓋
8	パワースイッチ	主電源スイッチ

1. 電池カバーをスライドさせて外し単三乾電池 3 本を入れます。

- 極性に注意して正しく挿入してください。
古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。



電池カバーを外します



単三乾電池 3 本を入れます

使用方法

ピントの合わせ方

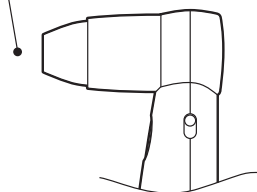
ピントのあわせ方は、下図のように2つの方法があります。

タッチアンドビューポジション

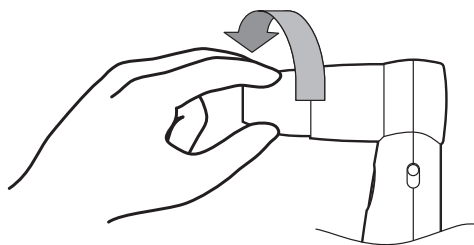
焦点位置

非接触ポジション

焦点位置



- タッチアンドビューポジション — ガイドの先端を観察物に直接接触させて観察します。
レンズユニットを反時計回りにクリック感があるまで回してください
- 非接触ポジション — 観察物の表面に突起がある場合やエアーマイクロをスタンドに取り付けて使用する場合に適しています。
レンズユニットを時計回りに回してください



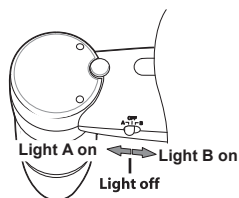
ライトスイッチの使い方

反射・無反射レンズの場合

- A : 反射モード
off: ライトオフ
B : 無反射モード

標準レンズ等、上記以外のレンズ

- A : ライトオフ
off: ライトオフ
B : 反射モード



電源を入れる

1. パワースイッチをスライドさせて電源を入れます
インジケータLEDが点灯します。

- ・ 1度点滅した後点灯 解像度＝QVGA
- ・ 2度点滅した後点灯 解像度＝VGA

- 電池電圧が低下すると電源が切れます。
継続してご使用される場合は、新しい電池に交換してください。



iPhone/iPod touch/iPadの設定

注：特に断りがない場合は、iPhone表現は、iPod touch, iPadを含みます。
アプリケーションによっては、説明画面が異なる場合があります。

iPhoneにアプリケーション(AirMicro)をインストールする。

お持ちのiPhoneにAppStoreからAirMicroをダウンロードしインストールしてください。
詳しい手順は、iPhoneの取扱説明書をお読みください。

AirMicroを選択する

1. ホーム画面から、設定のアイコンを押して、
Wi-Fiを選択します。



2. Wi-Fiがオフの場合は、オンにします。



3. ワイヤレスネットワークを選択のメニューで、
AirMicro**を選択します。

使用方法

4. >を選択して静的にします。

- ・ IP Addressに 192.168.XXX.YYYを入力します。
XXXは、AirMicroXXXの数値を入力してください。
YYYは、2～254までの数値を入力します。
YYYは、同様の機器が近くにある場合は、
重ならないようにします。

- ・ サブネットマスクに 255.255.255.0を入力します。

5. ホームボタンを押してホーム画面に戻ります。



AirMicroを設定する

1. ホーム画面から設定のアイコンを押して、AirMicroを選択します。



2. Camera Buttonのオン・オフを設定します。

オンでは、AirMicro本体のカメラボタンスイッチで録画等を行います。
オフでは、iPhoneの画面タッチで録画等を行います。



3. ホームボタンを押してホーム画面に戻ります。

4. AirMicroを選択すると、映像が現れます。



画像の一時静止／解除

AirMicroの設定がCamera Button ONの場合

カメラボタンを短く（2秒以下）押すと、画像が静止します。
画面にFreezeと表示されます。
もう一度押すと、静止が解除され、ライブ映像が映ります。画面のFreezeが消えます。

AirMicroの設定がCamera Button OFFの場合

iPhoneの画面上のLive|Freezeアイコンをタッチすると、画像が静止します。
Freeze側が青色になります。
もう一度タッチすると、静止が解除され、ライブ映像が映ります。
Live側が青色になります。

画像（静止画）の録画

AirMicroの設定がCamera Button ONの場合

カメラボタンを長く（2秒）押すと、画像が録画されます。
画面にCaptureと表示されます。
録画後、自動的に映像の表示に戻ります。（フリーズの場合も解除されます）
録画された画像は、写真アルバムに保存されます。

AirMicroの設定がCamera Button OFFの場合

画面上の黄色い●アイコンをタッチすると、画像が録画されます。
画面にCaptureと表示されます。
録画後、自動的に映像の表示に戻ります。（フリーズだった場合も解除されます。）
録画された画像は写真アルバムに保存されます。

ホワイトバランス

より鮮明な映像をご覧頂くために、ご使用の前にホワイトバランスを設定してください

1. 白い被写体を写します。
2. カメラボタンを軽く長く（2秒ほど）押すと、画像が録画されますが、更にカメラボタンを押し続けるとホワイトバランスが設定されます。
映像の色が白に変わったら、カメラボタンを離します。
3. 新たなホワイトバランスが記憶され、自動的に映像の表示に戻ります。
電源を切っても、新たなホワイトバランが保持されます。

解像度の切り替え

iPad等でより高解像度でご覧になりたい場合は、QVGAをVGAに変えることができます。

カメラボタンを押しながら電源をONします。

インジケータLEDが点滅している間(約5秒)にカメラボタンを離します。※1

インジケータLEDが点滅している間に、再びカメラボタンを押すと解像度が切り替わります。

インジケータLEDが少し点滅して点灯に変わります。

この操作で、QVGA→VGAに、VGA→QVGAに変わります。

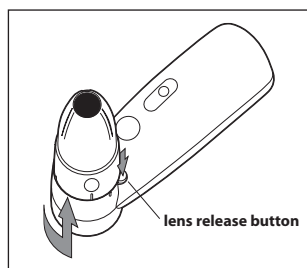
※VGAにすると、データ量が増えるため、画像表示速度が低下します。

どの場合でも、新たな解像度が記憶され、自動的に映像の表示になります。

電源を切っても、新たな解像度が保持されます。

- ※1 インジケータLEDが点滅から遅いフラッシュ点滅に変わった場合は、電源をOFFして、はじめからやり直してください

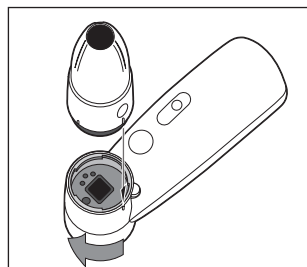
レンズユニットの交換



レンズユニットのはずし方

レンズリリースボタンを押しながら、レンズユニット本体を反時計回りに、ハッシュマークまでまわしてください

⚠ 注意 リリースボタンを押さずにレンズユニットをまわさないでください。



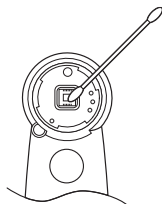
レンズユニットの取り付け方

1. 本体とレンズユニットのハッシュマークを合わせて、レンズユニットを挿入してください。
2. レンズユニットを時計回りに、カチッと音がするまでまわしてください。

メンテナンス

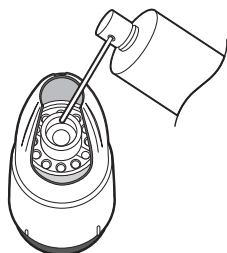
本体は、やわらかい、かわいた布でほこりを拭いてください。
汚れがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ、布をひたし、よく絞ってから
汚れを拭きかわいた布で仕上げてください。

CMOSイメージセンサー上の汚れ



CMOSイメージセンサーのほこりは、エアブローアーやダストガンで
除去するか、市販のクリーニングキットを使って丁寧に除去してください

レンズユニットの汚れ



レンズユニットのほこりは、エアブローアーやダストガンで除去してください

■ 電源が入らない（インジケータLEDが点灯しない）

- ・電池が消耗していませんか

■ 電源は入っているが映像が出ない

- ・レンズユニットのLEDは点灯していますか、ライトスイッチは入っていますか
- ・電子レンジやその他電波を発するものの近くで使用した場合、映像が停止する場合があります。少し待っていただきますと復帰します。復帰しないときは、電波を発する機器から遠ざけてください。
- ・解決しないとき
 - 電波を発する機器から遠ざけてください。
 - 本機と同じIPアドレスが使われている場合があります。その時は、同じIPアドレスを使用している機器のIPアドレスを変更してください。
 - iPhoneのIPアドレスが重複している場合があります。その時は、iPhoneのIPアドレスを変更してください。

■ 画像が不明瞭

- ・被写体の表面に光が反射する場合があります、レンズを当てる角度を傾けてください。
- ・被写体が暗い場合は、画面がざらざらしたノイズが出る場合があります。
- ・CMOSイメージセンサーの表面が汚れている場合があります。
- ・レンズユニットのレンズ面が汚れている場合があります。
- ・ピントが合っていない場合があります。

	仕様
イメージセンサー	1/4インチ 5MピクセルカラーCMOS
無線規格	IEEE 802.11b (Ad hoc mode)
倍率	X 5.0 倍 (交換レンズユニットによる)
解像度	320x240ピクセル (QVGA) / 640x480ピクセル (VGA)
キャプチャー	アプリケーションソフトによる
ライブ映像	約15fps 320x240 ピクセル (QVGA) この数値は、電波環境によって変動します。
カメラボタン	静止/解除 静止画取り組み ホワイトバランス 解像度切り替え (QVGA/VGA)
インジケータLED	点灯 映像送信中 消灯 電源OFF/バッテリー電圧低下 点滅 解像度切替、ホワイトバランス
ライトスイッチ	レンズユニットLED用3接点スイッチ A-OFF-B
サイズ	幅45x奥行100x高さ150
重量	約130g (レンズユニット含む、電池含まず)
消費電力	約2.5W (標準レンズユニット使用時)
カメラネジ	標準 トリボットマウント 1/4インチ
使用温度	0℃～40℃
保存温度	-10℃～60℃